

日二月二

常磐每日新聞

定価 一部金五銭一ケリ 郵費五銭
 廣告料 五部十二ケリ 一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

如來の救濟

眞繼 雲山

(二)

私たちはその存在を知らぬ以上、その存在は無いといふことになる。地球の外に尙ほ星の世界に地球と同じものが澤山あるかも知れぬが、現代の人間の智慧としてそれを知り得ぬので地球的存在が他に在りといふことは出来ぬ。火星の人類説の如きは空想であつて認識ではない。地球以外に地球的存在を認識し得ないといふことは地上の人類にとつて地球以外に地球的存在が無いといふことに歸着する。

手短かに例せば、私といふ人間を戀ひ慕ふてゐてくれる美人が蓬萊島にあるかも知れぬが、手紙の一本さへ呉れないから、私はその存在を知らない。この場合知らぬといふことは無いといふ事實と同然である。知り得ねば戀人あることを信ぜよといはれたところぞそんな馬鹿げた話は信じ得べくもないから、私に取つて蓬萊島に戀人は無いといふ事實に歸する。

阿彌陀佛は一切衆生を一人も洩れなく救濟してゐて下さるのであるが、それを

知り得ず、信じ得ないものに取つては、阿彌陀佛の存在はない。況んやその救濟はない。阿彌陀佛は「信じ得ないものをこそ、わしは不憫に思ふぞ、救はずには措かぬ」と仰せられてゐるので、信不信は先き様では問題でなく、従つて信が救濟、不救濟の條件ではない。佛の救濟は固より絶対無條件であるが、人間の方の立場からいへば、佛の慈悲を知らず、信じ得ない限り、救はれない結果となるゆゑ

心に信樂することが極樂行の原因となると教へられてゐる所以である。

既に老幼男女、賢愚凡聖をえらばず、一切有情が阿彌陀佛に救はれてゐるとなす以上、幼兒の死して極樂に到れること明らかであつて、露一點の疑ふ餘地はない。これは法性眞如の實相に體達して見れば、おのづから知らるゝことである。然るを子供の行先が分らぬといふのは、子供が迷ふてゐるのではなく、智なく信なき當の親たちが迷ふてゐるのである。

ノート

膏藥は揮き水かぬるま湯でふけば大抵とれます、尙とれない時は石鹼液か礬砂をといたぬるま湯で洗ふと落ちます

信することが必要條件となり、信じたものだけが救はれる話になるのである。こ

二明日の献立

- 【朝】おろしあへーしらす 乾 おろし大根
- 【晝】つくも煮もどきー豚 肉 キオベツ 鶏卵
- 胡椒
- 【晚】煮染ー焼豆腐 ごぼろ 鹽タラ

の故に、本願の名號を稱へることが正定の業であり至

兄ちゃんが事かたつてる
 兄ちゃんは今頃高梁の
 島とやらに歩哨てるかな
 螢がすーとたうもろこしの
 島の中にきえてつた

市原醫院

平町 田町
 電話 一四四番

節分豆まき會

一日時 二月三日(舊正月九日午後一時)
 一場所 縣社子歙神社
 一歳男 各町の世話人又は事務所(平町紺屋町柳下方)迄に申込まれたし

會費廿錢 (福豆及び神札呈上)

主催 福和內會

又々ウチワ豫約期が來ました

本年のウチワ。扇子は諸掛のかゝる外來品より、注文に追加に萬事便利にて、製品及價格に自信のある山久へ！是非一度御用命を……

山久團扇店
 前局町屋紺平
 番九〇四(呼)話電
 庫在富豐器子硝壺子菓
 一タスポ。一ダンレガ

平乙女の腕で出來上る町産品

三河産業博覽會 金牌受賞
 昭和産業博覽會

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

かまぼこ 製造

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

平町一丁目

電話 一四一番

高久病院

院長 醫學士 赤久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話 五一三番

金銀高價買入

根本時計店

平町二丁目(三幸堂跡)
 電話 六〇七番

外科

専門 X 線 科
 上田外科病院
 平町南町
 電話 一二九番

夜九時まで

御預り倉出し致します

平三丁目通り

旭屋一六銀行

電話 四二五番

中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七

警中及び警女の

學費はどの位か

▽入學志望の兒童を持つ

▽各家庭の参考までに……

一ヶ年平均(警中は九十五圓九十七錢、警女は八十六圓七十二錢)

中學校及び女學校に入學志願の子供を持つ家庭では一体夫等上級の學校に入學すれば一ヶ年どの位の學費を要し且つ卒業する迄に幾らの金が入るかを一應知つて置く事も穴勝ち徒勞ではなからう先づ本報が警城中學校及び警城高等女學校に就て

調査した處に依ると

警中に於ける一ヶ年の書籍、靴、學用品、小遣は一年生が四十四圓四十六錢、二年生二十五圓八十五錢、三年生四十七圓五十九錢、四年生三十八圓四十九錢、五年生四十八圓四十一錢、平均四十圓九十七錢で

此れに一ヶ年の授業

料、校友會費、保護者會費、旅行積立金年額五十五圓を加算すれば平均九十五圓九十七錢となり卒業する迄には四百八十圓を要する譯である次に警女は教科書代、學用品、被服費、小遣は一年生四十四圓八錢、二年生二十三圓八錢、三年生二十五圓八十四錢、四年生二十八圓十五錢、平均三十圓三十二錢となり此外

一日に平均

八百卅人が出勤

大掛りな夏井川改修

既報石城郡草野村六十枚橋より河口に至る夏井川の改修工事は七年度豫算十萬圓を投じて進捗中であるが短期間に十萬と云ふ莫大な金が落ちる事として人夫の採用も他の事業を押し目下一日平均八百三十人宛使役して居るが今年度には豫算三十萬圓を以つて神谷村字中神谷附近迄改修をなす

剣道選手が

雲集して白熱戦

十三日に演武大會

警城剣道大會では来る十二日午前九時より平商業學校道場に演武大會を開催し各地の青年團剣道選手に依つて優勝旗争奪及び優勝の個人試合等ある筈にて盛會を豫想されて居るが希望者は来る八日迄に平商業學校内小野氏宛に申込み度いと

産米增收

賞品授與

四倉農會で

石城郡四倉町農會は産米

増收品評會の賞品授與式を来る七日午後一時より町役場に於いて舉行すると

水道料の

滞納整理

人員は四百名

平町水道課では目下七年度十、十一、十二の三ヶ月分共同栓使用水道料滞納者の整理中であるが滞納者は四百名三百七十餘圓で一兩日中に督促状を發すると

木炭検査の

縣移管延期陳情

其間に極力組合費の整理

既報濱三郡木炭同業組合では四日より縣管検査に移管となるに就いては未納組合費整理其他の關係から移管の一ヶ年間延期方を過般早

昨日から開かれた

中堅農民の講習會

舊正月の割に出席者が多い

て 福田技手

既報石城郡農會主催の中堅農民講習會は昨日より團体事務所樓上に催されたが舊正月の事として出席者數を憂慮されて居た處第一日目は豫定人員の九十七名のうち八十名に達し好成績であったと八日迄の講習科目及び講師は左の如くである、(一)桑樹栽培に就いて折笠技手(二)産米改良法 松本技手 養蠶改良策 目黒技手(四)より八日迄)土讓肥料に就いた

平町人事

出生

△北目町四 赤津英雄氏長男久太郎
△北目町七四 當時横濱市保士ヶ谷神戸下町一六二鈴木徳江氏三女トシ子
△八幡小路六六當時石城郡勿來町字通八山森正保

氏二女邦子

△北目町四 赤津英雄氏(二九)新潟縣中蒲原郡村松町二三二六 河村キク(二二二)
△白銀町鐵道官舎當時茨城縣東茨城郡河和田村鐵道官舎野口シモ(三八)

專門 婦人科

◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

專門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

平新川町十九

外産婦人科 木村病院

電話一六四番

院長 木村寅次郎
産婦人科 醫師 木村寅次郎
婦人科 醫師 木村寅次郎
内臓外科 醫師 木村寅次郎
整形外科 醫師 木村寅次郎
器泌尿科 醫師 木村寅次郎

平町役場調査の

貴金屬類使用量

流石に歯科醫が最も多量

純金たけでも一貫匁以上

平町役場では昨年中に平町のカザリ職其他細工業及び齒科醫等が用いた白金、金銀等貴金屬類の使用を調査したが夫れに依ると細工業方面では

白金	五十二匁
金	八百九十二匁
銀	一萬九百九十匁
銀	一萬四百九十匁
銀	二百卅八匁
銀	四十七匁

に達して居る因に平町の一匁の現在の相場は白金十七圓、金八圓七十四錢四厘、銀二十錢であると

新妻眼科醫

召喚取調へ

健康保険醫の位置を悪用し

縣知事より詐取

平町宇田町六十番地明雲堂眼科院醫師新妻幸之助氏(四)は本日本検査局に召喚され

小林検事

の取調べを受けて居るが事件は昨年九月赤井村大字西小川字藤澤磐炭従業員三浦平八が作業中負傷し同眼科院に入院した際自分が縣健康保険醫である位置を奇貨とし共謀の上附添へ

看護婦を雇入れた様

野新兵氏が辭表を提出したので町當局では昨日幹部會を開き後任として宮野靜

俄然値下り

平地方の木炭相場

既報平町の木炭相場は品不足の結果檜丸一俵七十五錢乃至八十錢にて昨年より三割方の暴騰を來し需要者を恐怖せしめたが去月卅一日頃よりは漸く木炭の出廻り良好となつた爲め即日一俵に付五錢乃至十錢の値下りを見現在檜丸一俵六十錢臺にあるが今後は下り氣味を續けるであらうと

種牡馬の検査

郡下一齊執行

石城郡産馬組合では本年度種牡馬の検査を三月より郡下一齊に執行する事になつたが目下決定した検査日割は上遠野村の三月十三日、田人の同十四日、澤渡の同十六日等であると

齒科衛生の

講演と映畫

平町各學校主催で

衛生」八巻等であると

フラック男

平署で大目玉

平町各中等學校及び各小學校にては来る十四五の兩日縣主催の下に齒科衛生に關する講演及び映畫會を開催するが講師は日本齒科醫學士清水儀三郎氏にて映畫のプログラムは「あゝ酒井大尉」三巻「榮冠」八巻「口腔

石城郡好間村字愛谷居住日雇業藤田清(四)は目下同村の匡救工事場に働いて居た



今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
少年講談「長短槍試合」野村無名庵
後七、三〇 講演「建築の風貌」仙臺高工教授小倉翁氏を直に任命した

後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告
明日の部
前九、一〇 料理献立
前一〇、三〇 家庭講座
「家庭生活と信仰」木山十彰
後一〇、五〇 説教節「貞女の鏡」淨るり若松辰太夫
三味線柏木若之助
後二、〇〇 講演「使命を果して」滿洲派遣慰問青年團

後五、三五 受験講座
「和文英譯」岡田實慶
後六、〇〇 子供の時間
お話「こんな節分を御存知ですか」藤澤衛彦
後七、三〇 大阪にわか「忠臣藏山達ひ」大和家小寶樂
後八、〇〇 連續浪花節「河内山宗俊終席」木平重友
後八、四五 新小唄 石巻町時奴外

放火犯を

宮城へ護送

が昨日午後二時頃材料品の支拂金十圓を持たされて平町に使用に出掛た際三丁目カフエーOR前で女給の姿を見てフラックとなり夜十時頃遊興して材料支拂金の十圓を使ひ果したが平署に女給のサービスが悪いと説諭方を願出で反對に係官から眼玉の飛出る程説諭されて引下つた

保險金詐取の目的で放火し平支部に於て懲役三年六ヶ月を言渡された平町久保町二十七番地精米業遠藤忠治(三)は宮城刑務所に於て服役の爲め明朝平發五時四十分にて渡邊監守附護送される

出た儘歸らぬ

娘は誘拐されたか

父親が心配して……

石城郡小名濱町神明町日雇業野木明長女ミツ子(一)は去る卅一日平町へ出て就職探しに出掛けた儘行衛不明となつたので悪桂庵にでも誘拐されたのではないかと本日平署に實父より捜査願が有つた

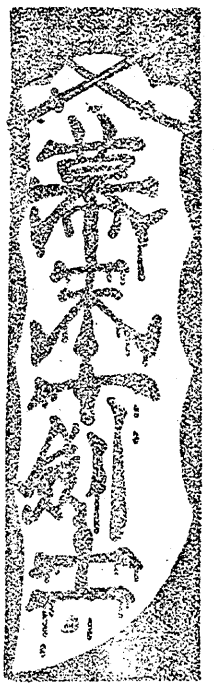
は若松區裁判所書記小川太吉郎氏で明日着任すると

平裁判たより

石城郡田人村大字黒田五十二番地大工蛭田卯太郎(三)が昨年七月十三日同村蛭田清吾の指に噛付全治七十日間の傷害を與へ傷害罪として罰金五十圓の略式命令に處せられ正式裁判を申立た事件は本日午前十時より平區裁判所に於て關口判事係り開廷され判事の訊問

豫審書記後任 福島
地方裁判所豫審書記に榮轉された淺野慶太郎氏は今朝平發九時列車で出發赴任したが平支部豫審書記の後任

- △店員 二十三才以下 尋卒 仕着小遺(平町某書店)
- △子守兼女中 十六才 尋卒 給料面談(平町某)
- △寫眞師見習 十六才 高卒 仕着小遺(平町某)
- △家事婦 四十才 月五圓 外面談(赤井村某炭礦)
- △回職を求める方
- △小使 三十三才 尋五修 給料面談(平町某)
- △自動車運轉手 二十七才 高卒 給料面談(平町某)
- △女中 五十一才 尋卒 給料面談(平町某)
- △雜役 三十六才 高卒 給料面談(平町某)



【禁時上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲書

第二百五十七席 千葉周作

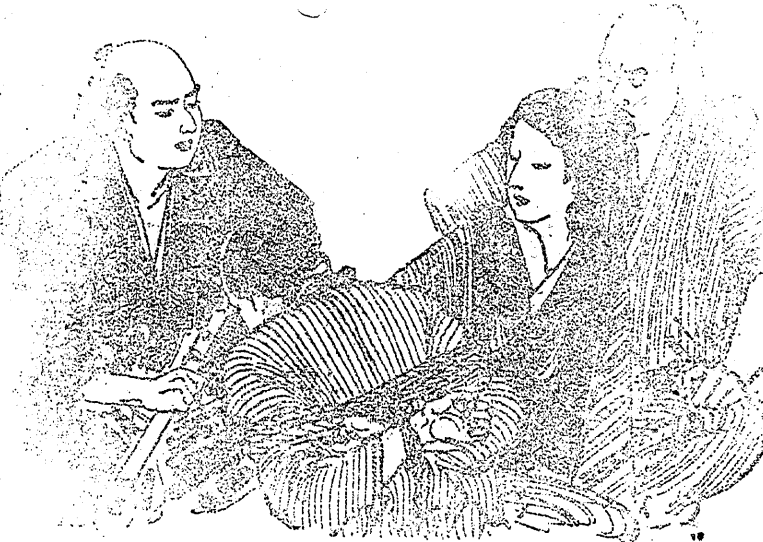
取り出した七首

佐吉はおせいに對ひ、この友藏と云ひ、義理を知らぬ人間だ、今更云ふも愚痴な事だが、親分はまだ前髪のある頃から血を浴びて拵へた細張、下總は云ふに及ばず關八州で笹川の繁藏と云つては、俠客仲間を勿論堅氣の旦那方もその名を知るほどの大親分、飯岡の助五郎に喧嘩を賣られて三年の間向ふも此方も死人が出来るほどの大喧嘩をした、しかし親分は不運にも蛇山であはれな死にかたをした、その怨みを晴らさうと八州役人の目を忍んで勢力が助五郎をつけ狙つたが向ふは銚子の陣屋の御用聞き、八州役人や目明しを頼んで勢力の行衛をさがし、これを御用にして枕を高く寝るつもり、氣の毒にも勢力は夏目の金比羅山で榮助と與にこれ亦無念の最期をした、俺達は八州役人に追はれて故郷にゐる事も出来ず、産湯を流した土地を立退き諸所に散つたが、これは命が惜い爲では無え、ぼとぼりの冷めた頃に下總に引返し助五郎を殺して親分

の墓にその首を手向け追善をする爲め、ところがおめえさんはこの友藏と睦まじい仲になり親分の遺して行つた田畑や旅籠屋の株を人手に渡して金に替へ此方へ出て来て友藏と夫婦になつて居酒屋を

の遺して行つたあの旅籠屋を持ちついで居るならば俺達も苦情も云はず元々通り美しく交際う、それをおめえさんは自分の内でも盗みをして一旦親分の許を勘當された兇狀持の友藏を亭主にして土まかかぬ親分の墓をすて、退くとはいよくねえ事だ、定めし親分は怒つてゐるさうだらうそこで親分に代つて俺が怨みを晴らして遣る」

おせいはこれを聞くとブルブルと身を顫はせ、せい「勘忍しておくれ、おまへの云ふ通り女の道に背いた事をし



してゐるとは女の道に背いた事を併し姐さん、亭主を持つたが悪いとは云はねえよ、まだおめえさんも四十にはならねえ一人であることも出来なからう、親分には義理は悪いが堅氣な者を亭主にして親分

ました、イエねえ親分はあゝいふ事になつてしまひ頼りに思う身内の者は一人として寄りつかず」

せい「イヤこれはねわたしが悪い、お前の腹の立つはもつとも併しねお前とわたしとは切つても切れない深い縁のある仲、どうぞ今度のことは勘辨して下さいそれでね友藏さんとは今技で縁を切るからそれで助けて

おくんない」
佐「オイ姐さん、友藏と縁を切れとは云はねえ管だ一石夫婦になつたもの、二世までも添ひとげるがよい」
せい「それで勘辨してくれるかえ」
佐「イヤ俺は勘辨するとして親分はなんと云ふかまア何にしてもこの世はおろか來世まで此友藏と夫婦になるがよい」
と云ひながら懷中を探つて出した七首。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎同文庫

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院
平町南町 電一〇七

年 始 品答贈御

磐城名産 魚問屋
最優最良 大日 本盛 命平 代理店 榮三番

江戸前料理 吉田眼科病院
御祝儀 御法事の御料理 多少に拘ず御用命下さい 出前！迅速！

靈効散 (無効返) 胃腸病薬の王座を占むる純漢法薬
松前 家傳
ホントに北海道で出来た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のは眞正のもので奏効確なもので、服用しなくては其の眞價が判りませぬから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出来ました。